

* 感謝



この司祭のてがみの始めに、改めてベル
トラン神父様に感謝の意を表したいと思
います。神父様のおかげで休暇を取ること
ができ、辛い時に直面している私の兄弟
たちと一緒に貴重な時間を過ごすことが
できました。ベルトラン神父様を温かく
迎えられた皆さんにも心から感謝致しま
す。厚くお礼を申し上げます。本当にあり
がとうございました。

* “信じることは役に立たん!?”

さて、話は変わりますが、つい最近ルカ
による福音書の次の言葉を黙想した時、
頭に浮かんだことを皆さんと少し分かち
合いたいと思います。—「主よ、私ども
の信仰を増してください」と。(ルカ17章6)
この弟子たちの願いを聞けば、きっと多く
の現代人は「一体何のことか」とあざわら
い、「どうせ信じる事は役に立たん」とは
ね付けるでしょう。「信者」と言われてい
る人々の中でも心ひそかにその見方に

賛同しがちな人もいるかもしれません。

—信じることは役に立たん!?!—

●確かにイエス・キリストを信じているか
ら試験に成功し、合格するのではありません
。それだけの能力があり、それなりの
努力をしたからこそ、その結果として合格
するのです。場合によって運も手伝って…。

●イエス・キリストを信じているから
商売が繁盛するのもありません。経済
状況がよく、その仕事に向いているから
うまくやっています。

●イエス・キリストを信じて大安に結婚式
を教会で挙げたから夫婦関係がうまくい
くのもありません。お互いに理解し合い、
譲り合い、赦し合う努力をしているから
幸せを築りあげることができるのです。

●イエス・キリストを信じているから
病気もせず、
死なないとい
うことでも
ありません。イエ
ス・キリス
トへの信仰
はウイルス
や細菌と
戦うため
にあるもの
でも、老化
現象を止



めるためにあるのでもありません。

—信仰がなくとも不自由なく、健康に恵まれて生きることができます。—大勢の人々が証明しているように。

普段言われている意味で、「役に立つ」から私たちはイエス・キリストを信じているのではありません。



＝そうだとすれば、「役に立たない」とすればどうしてイエス・キリストを信じようとするのでしょうか。

多くもたらすことができる答えの中で一つ紹介したいと思います。

*それは、「神にかたどって」（創世記 1 章 26～27）創造された「人」に相応しく生きることができるためです。「火」、愛である神から私たち一人ひとりが火花を授かっています。その火花を消すか、その火花が燃える火になるようにするか、それは私たち一人ひとり次第です。—「わたしが来たのは、地上に火（愛）を投ずるためである。その火が既に燃えていたらと、どんなに願っていることか」とイエスはおっしゃいましたが（ルカ 12 章 49）その願いは聖霊降臨によって（使徒言行録 2 章 3～4）叶えられました。

●「あなたがたは世の光である」（マタイ 5 章 14）と。—「光」である神でありながら、人間の姿で現れた（ヨハネ 1 章 4～5）イエスはその言葉を残して、「光」として

生きるために私たちに模範を示しました。イエス・キリストを信じることは、そのことを受け入れ、それに従って日々の生活を送ることです。

●「自分中心」の信仰は役に立つことを求め、自分のためになること、自分の利益を期待していますが、イエス・キリストへの信仰は違います。イエス・キリストを信じることは神の「光」を反射し、それによって人に役立つことを目指すことです。

すなわち、その信仰は神の愛、慈しみと憐れみを証しすることを呼びかけ、人権の尊重、社会の正義、世界の平和の実現のために尽くすことを求めています。

そうすれば神はすべての人々に賛美され、感謝をされるでしょう。「あなたがたの光を人々の前で輝かしなさい。人々があなたがたの正しい行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためです」と。（マタイ 5 章 16）



—結果的にイエス・キリストを信じることは「役に立つ」のではないのでしょうか。～このてがみを読み始められた皆さん、ここまでついて来られたでしょうか。不安と希望を抱きながらペンを休ませていただきます。